



Executive Interview

エグゼクティブ
インタビュー

no.40

このコーナーは神奈川トヨタのお客様である経営者の方にお話を伺うコーナーです。

有限会社 ミザール 取締役

鹿嶋 加代子 様

平成12年横浜市鶴見区に創業して15年あまり、介護福祉事業のスペシャリストとして、地域で信頼される介護サービスを提供している有限会社ミザール。取締役 鹿嶋 加代子氏に介護業務に携わる思いなどを伺いました。

■自分自身が「私、ここがいい！」 と思える施設を目指す

——主な事業内容を教えてください。

住宅型有料老人ホーム・高齢者用マンションの管理運営をしています。マンション内は全て福祉施設になっていて、2階はデイサービスセンター、3階から6階までが住宅型有料老人ホームで高齢者用マンションとなっています。訪問介護ステーションを設け入居者を対象とした訪問介護を行っています。また、近くに居宅介護支援センターを作り、ケアマネージャーさん3人で、居宅介護支援をしています。

——介護保険制度がスタートした平成12年に創業されていますが、それまではどのような仕事をされていたか？

もともとは独身者向けのマンションを営んでいました。女性でも安心して暮らせるようなインテリジェントマンション

で、ワンルーム家具付きでやっていました。当時はワンフロアごとに会社で借りてくれていましたがバブルがはじけて、借りる人がいなくなってきてどうしようかと思っていました。その頃は孤独死などが問題視され始めた頃で、私自身、親の介護を経験し、もともと介護に興味があったこともあり介護福祉事業について考えてみました。私が年金を受け取れる年代になった時、友人たちと一緒に暮らせるような場所ができればいいなという感覚で介護の勉強をして、介護福祉の施設への変更を決意しました。

それでも始める時はとても大変でした。自分の蓄えていたものはほとんど全部使ってしまいました。補助金等ももらいながら介護に必要な設備を整え、自分自身が「私、ここがいい！」と思えるような施設にすることを第一にやってきました。

ヘルパーさんも当初は出たり入ったりが多かったのですが、ここ10年くらい

は落ち着き、みんなベテランばかりです。当社の企業理念はスタッフみんなで考えて決めた、「安心・安全・快適なミザール」です。この理念に向かっていこうとするのは、簡単そうで難しいことですが、私の気持ちを理解してもらい、スタッフ一同気持ち良く働いてくれていて、すごくいい介護を提供できています。病院の医師や周りの方々からの評判も良く、この辺りでは、「ミザールさんなら安心」、福祉担当の人からも「ミザールさんがあるから助かります」って言うだけで、自分の中で少しホッとしているところです。

——ミザールという社名の由来は？

「ミザール」は大熊座の恒星で、小熊座の周りを見守るように回り続ける星座の名前からきています。マンションを建てたときにつけた名前ですが、今の業務にも通じるものがあり、そのまま使っています。



安心・安全・快適な シニアライフをお手伝い

■家庭的で楽しく過ごせる 終の棲家を

——仕事をするうえで気をつけている ことは？

介護する方もされる方もみんなが健康であることですね。みんなが楽しく賑やかに過ごせるような快適な空間づくりを心がけています。また、自分たちに余裕がないと、利用者さんに対しても余裕がなくなってしまいます。スタッフには、プライベートは持ち込まない、ヘルパーとして自分が何をしなくてはいけないかということを考えて仕事をしてほしいと言っています。

この仕事を始めて、いろんな人生があるなと感じました。利用される方々にはいろんな方がいます。私は、子どもの頃からお年寄りと話したりするのが好きだったし、いろんな話を聞くのが好きだったので、上の世代の方たちの話を聞くのはすごく勉強になるし、楽しい業界です。私は好きなんです。

——介護の現場は大変というイメージが 強くて、楽しいという言葉は聞けるのは 意外ですね。

入居者もいい方が来てくださって、恵まれているのかもしれませんが。ある著名人のお母様が一人になってしまったということで、立派なマンションから、当社を探して転居されました。その方から「私の体を触ってくれるの？」って言われたのがすごく印象的でした。冷たい手ですね、なんて言って手をさすって温めてあげると、たったそれだけのことでですけど、すごく喜んでくれました。お金持ちでも、寂しかったんだなって。大切なのは立派な施設とかだけでなく、

家庭的なことが大切なんだと思いました。特に一人暮らしが長い方は寂しい思いをされているみたいです。当社はそれを癒せる施設だと思っています。とにかく楽しく過ごさせてあげたい。私もここに来て楽しく過ごしたいと思っています。

——他社には負けないセールスポイント を教えてください。

当社は離職率が低く、介護力は他社には負けない。スタッフにはとてもいい介護をしてもらっていると思います。入居されてから、再び自力で歩けるようになった方もいますし、個人差はありますがみなさん元気になってくれます。また、当社は最期まで看取ります。預かっているのに、最期になったら帰ってくださいというのはちょっと理不尽じゃないかと思うんです。よそはそこまで見るのは少ないみたいですが、当社は介護保険外で最期まで看取るようにしています。ヘルパーさんが良くやってくれて、みなさん心静かに逝かれます。すごくきれいな

顔で、ありがとうと言って亡くなっていかれます。私たちにとってそれが一番の励みです。

——今後の目標を教えてください。

娘が手伝い始めて8年、資格も取得し、お陰様で周囲からお褒めの言葉をいただけるようになり、これからは次の代に任せていきたいと思っています。今度は私がここに入居しますから、その時はうるさく言うかもしれませんね。私の考えを押し付けてはいけないと思っていますが、最低限みんなが楽しくやってくれるような施設にしてもらいたいです。

介護保険を利用したら、高齢者だけでも上手に暮らせます。体が多少不自由になってもできるだけみなさんご自宅で過ごせるようなお手伝いをしたい。行政には、もっと介護保険を利用しやすい制度にしてほしいですね。

——後継者である娘さんからも一言 いただけますか？

利用者本位ということが一番を考えて、そこに向かって、ヘルパーさんや、私たちが手伝えることをやっていきたいというのが一番です。ただ、国の流れや、世の中の流れで介護の在り方も変化していきます。医療も非常に大事だと思うので、そちらとも連携を図りつつ、地域に根付いた介護をやっていけたらなと思っています。



娘で後継者 戸張 絵里子様 (写真右)

有限会社ミザール (高齢者マンションミザール/デイサービスセンターミザール)

〒230-0037
横浜市鶴見区向井町4-88-21
TEL: 045-506-1566 FAX: 045-503-2363
URL <http://www.miza-ru.co.jp/>

ミザール居宅介護支援事業所
横浜市鶴見区栄町通1-8-12
TEL: 045-506-1571 FAX: 045-503-0650

<インタビューを終えて>

介護の現場は重労働や厳しい勤務形態など、暗いマイナスイメージがあったのですが、鹿嶋氏は生き生きと現場での楽しいお話をしてくれました。仕事にやりがいを感じ、明るく対応する姿勢はきっと入居者に生きがいと幸せを届けているに違いないと感じました。